「5」のチョコ包み
推移律で「5」のかたまり

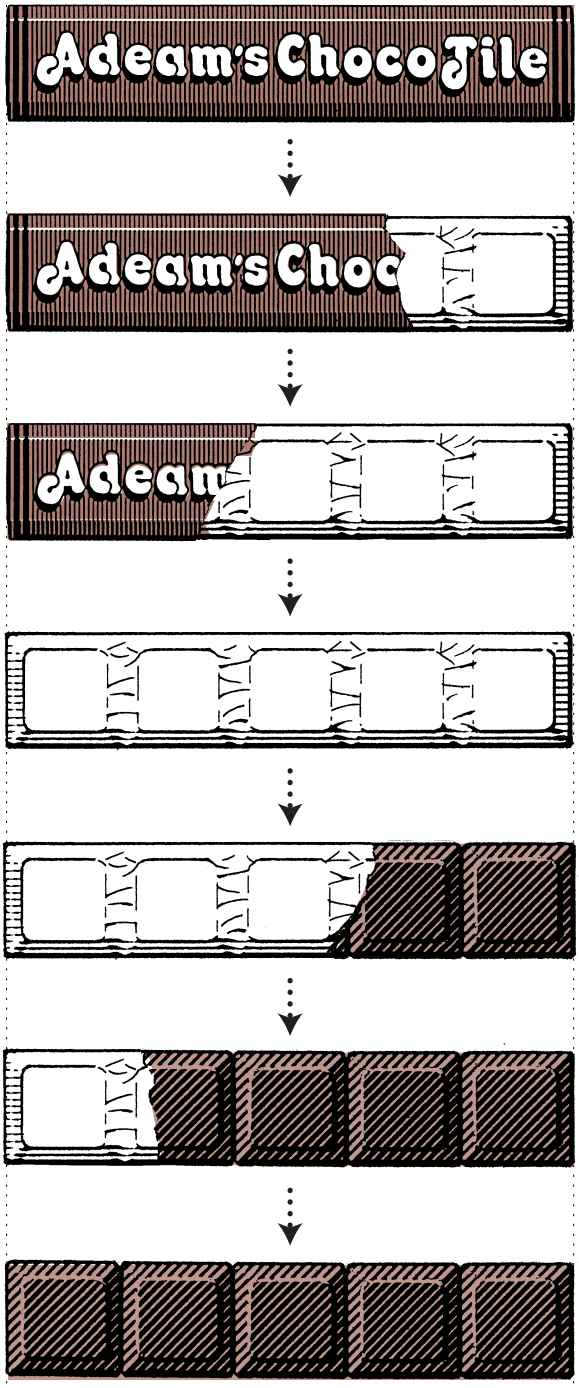
4286 © Adeamland

1) 上から順に絵の説明を聞かせる。同じであることの確認をつないでいく。
2) 銀紙をむいたら5粒だったと確認し、初めに還って紙包みの中はいくつか問う。
3) 5粒と納得したら、右下の"5"のラベルを切り貼り。

a) 「5」のかたまりの概念化。パッケージされたチョコは外から数えられないが、それでも5だと量感を伴って認知するための手続き。五二進法の演習の準備となる。
b) 推移律、すなわち A=B で B=C なら A=C であることの視覚的な体験。推移律の連鎖である。

Date ／
Note
評 □

なかには　なんつぶ?



そとがみ　むいたら…

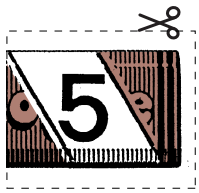
ぎんがみ　でてきた。

ホラね。

ぎんがみ　むいたら…

チョコがでてきた。

ホラね。
なんつぶかな?

はじめの　つつみは
なんつぶだったの?

では、はじめの　つつみに
5の　しるしを　はろう。